

東証スタンダード市場・福証
証券コード：6998

投資家のみなさまへ

日経IR・個人投資家フェア2023 三二会社説明会

2023年9月1日・2日

 日本タングステン株式会社



はミニ会社説明会での説明事項です。

目次

1. 当社の概要

- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス体制
- 沿革
- 国内事業拠点
- 海外事業拠点

2. 事業内容の紹介

- タングステンの特徴と製品への活用
- 製品開発の歴史
- 材料別売上構成比の遷移
- 当社の製品群とターゲット市場
- 事業セグメントの売上高

3. 日本タングステングループ

長期的なビジョンと事業戦略

(1) サステナビリティ経営の実装と長期ビジョン

- 経営理念
- パーパス
- サステイナブルビジョンとマテリアリティ
- サステイナブルビジョン Sustainable Vision
- 成功の柱が目指す姿

- 2000年以降の業績
- 長期的なビジョン

(2) 2024中期経営計画の進捗状況

- 2024中期経営計画 2 ndStage基本戦略
- 2024中期経営計画 1 既存事業の価値最大化
2 成長戦略
- 2024中期経営計画の進捗

(3) 4つのターゲット市場と注力製品

- ターゲット市場と注力製品
- 注力製品が売上高に占める割合
- 注力製品紹介

(4) 注力中の開発製品

- 2024中期経営計画 注力中の開発製品

4. 株式の状況と株主還元

- 所有者別株式分布状況 ■ 株式指標
- 株価と株価収益率（PER）の推移
- 配当金の推移と配当方針の変更
- 株主還元関連指標の推移

- ご注意



本日のミニ会社説明会でお伝えしたいこと

サステナビリティ

1. パーパス「より少なく、よりよく。」を制定するとともに、サステナビリティ経営に向けて、サステイナブルビジョン2050を策定。また、サステイナブルビジョンを達成するための“5つの成功柱”（≡マテリアリティ）を策定し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを開始。

経営計画

2. 創立100周年に向けた長期ビジョンでは、2030年度に営業利益20億円、営業利益率10%以上およびROE 10%を目指し、3期にわたる中期経営計画をもって達成を目指す。
3. 2024中期経営計画の1stステージ（FY21～FY22）では、最終年度（FY24）目標に向けて順調に推移。
4. 2024中期経営計画の2stステージ（FY23～FY24）では、世界シェアの約8割を占めるハードディスクドライブ（HDD）用磁気ヘッド基板など既存事業の価値を高め、ROE 8%を目指す。
また、利益創出事業で得たリソースを成長期待事業へ集中し事業成長を目指す。

新商品

5. 新商品「MAZZEROY®」（マゼロイ）は、機能性コンパウンドを製造するうえで課題となっている、耐食耐摩耗性や耐衝撃性を軽減させる新素材であり、サステナビリティでは脱炭素化や廃棄物の削減に貢献する。

株主還元

6. 株主還元では、配当方針に1株当たりの年間配当金の下限金額100円を設定。（配当利回り4%超）
今後も安定・継続的な配当に努力する。

1. 当社の概要

会社概要

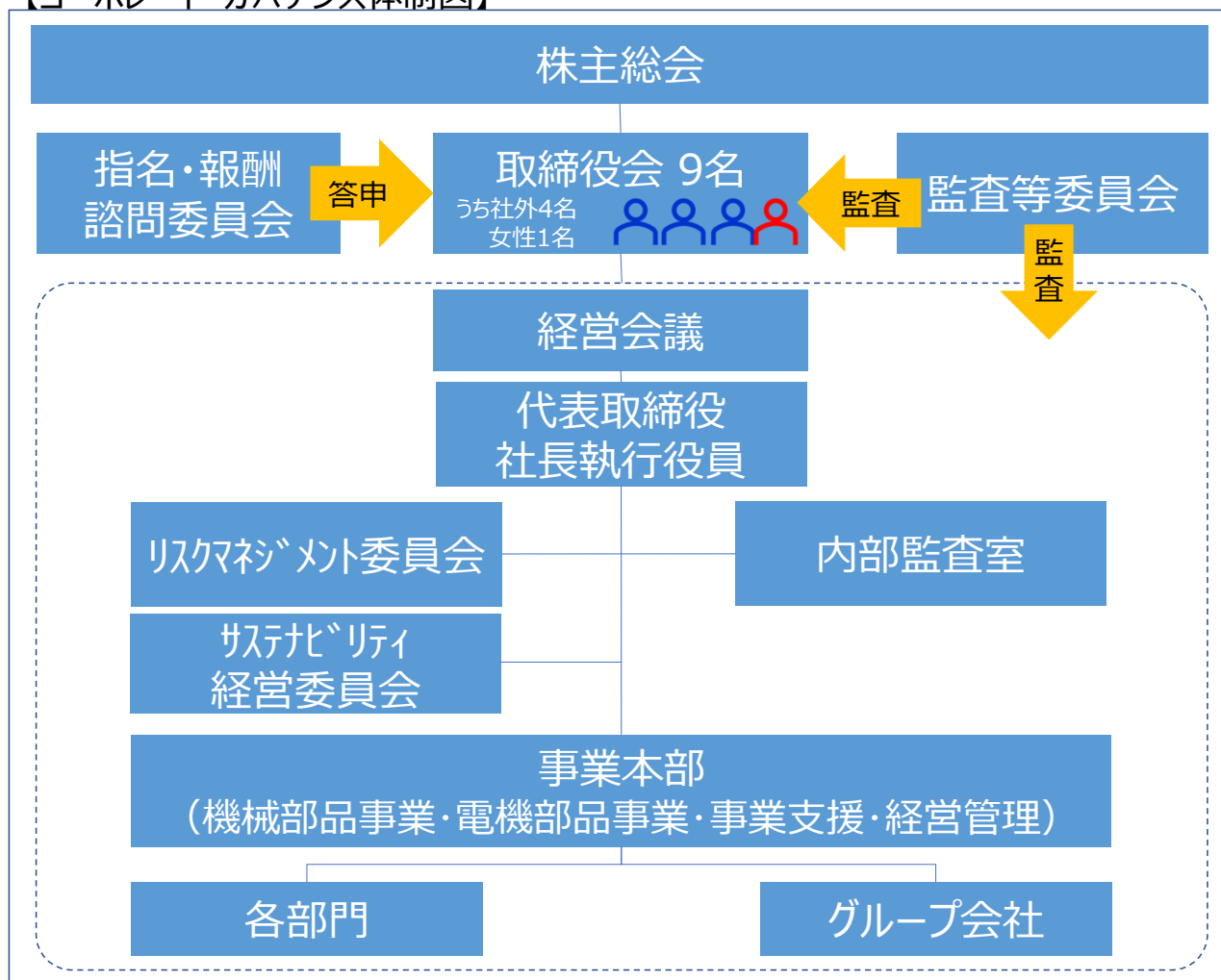
社名	日本タングステン株式会社	
創立年月日	1931年4月1日	
事業内容	1. タングステン、モリブデン、その他の金属の精製加工並びに販売 2. ファインセラミックその他窯業製品の製造並びに販売 3. 不動産の賃貸および管理 4. 太陽光発電事業	
本社所在地	福岡市博多区美野島一丁目2番8号	
資本金	25億950万円	
売上高	126億円4千5百万円（2023年3月期）	
従業員数	513名（連結・2023年3月末）	
役員	代表者	代表取締役社長 後藤 信志
	構成	社内取締役 5名 独立社外取締役 4名（女性1名） 執行役員 1名
グループ会社	【国内】連結子会社 2社 【海外】連結子会社 3社 持分法適用関連会社 1社	

コーポレート・ガバナンス体制

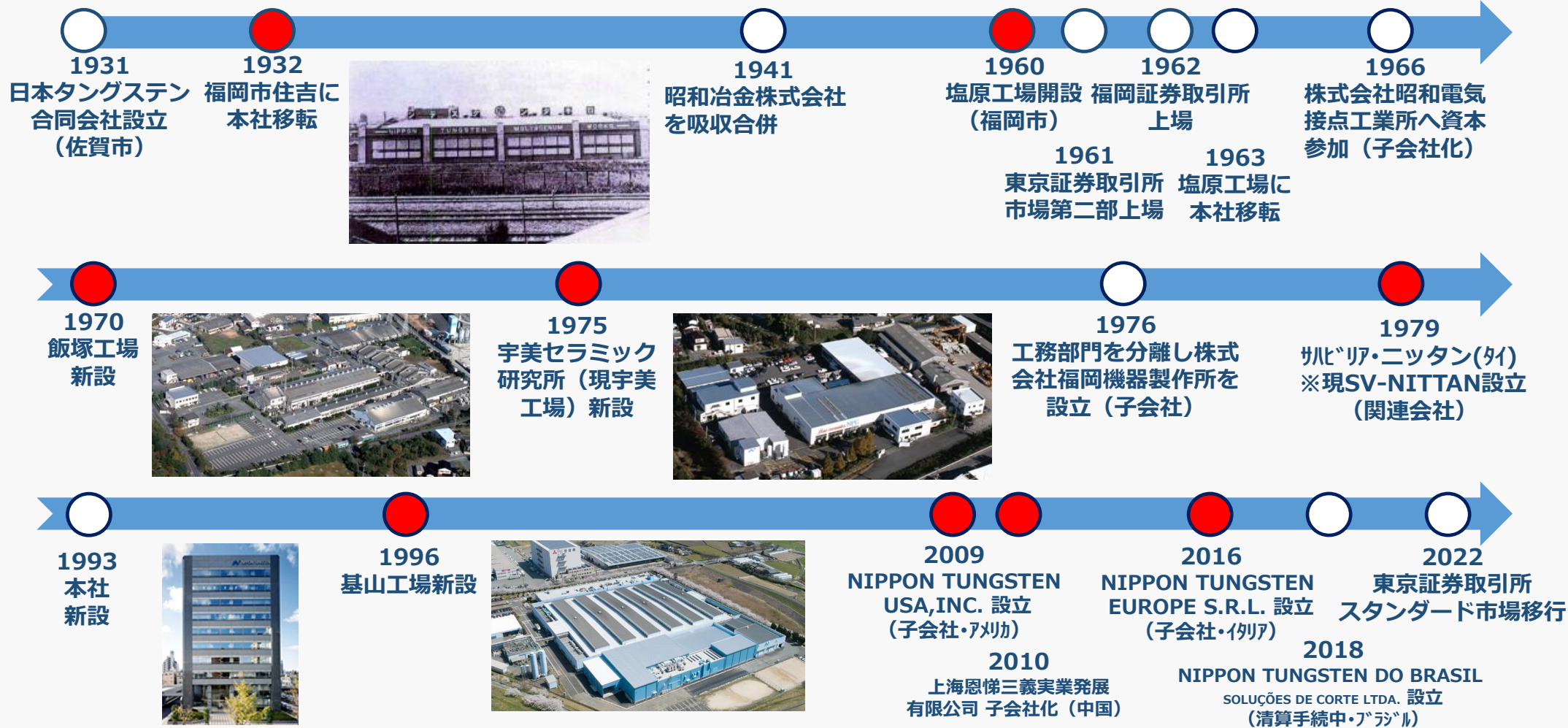
コーポレート・ガバナンスの充実に向けたこれまでの取り組み状況

2016年 6月	監査等委員会設置会社への移行 執行役員制度の導入
2017年 6月	取締役会の実効性評価結果の 公表開始
2018年 6月	譲渡制限付株式報酬制度の導入
2018年12月	指名・報酬諮問委員会制度の 導入
2019年 6月	独立社外取締役を増員 (3名⇒4名)
2023年 5月	サステナビリティ経営委員会を発足

【コーポレート・ガバナンス体制図】



沿革



国内事業拠点

- 1993年竣工
- 10階建の自社ビル
(1～9階部分は法人に賃貸)
- 当社創業の地 (1931年)

本社 (福岡市)



宇美工場 (福岡県宇美町)



- 1975年セラミック研究所として開設
- 磁気ヘッド基板をメインとしたセラミックス製品の生産工場

飯塚工場 (福岡県飯塚市)



- 1970年開設
- タングステン線を主とする金属材料製品の生産工場

(株)昭和電気接点工業所 (連結子会社：同市)

- 1996年開設
- 電気・電子材料製品、超硬合金製品、セラミックス製品を製造
- 開発技術センター、品質保証センターを併設した基幹工場
- 2014年から太陽光発電事業(売電)を実施

基山工場 (佐賀県基山町)

(株)福岡機器製作所 (連結子会社：同町)



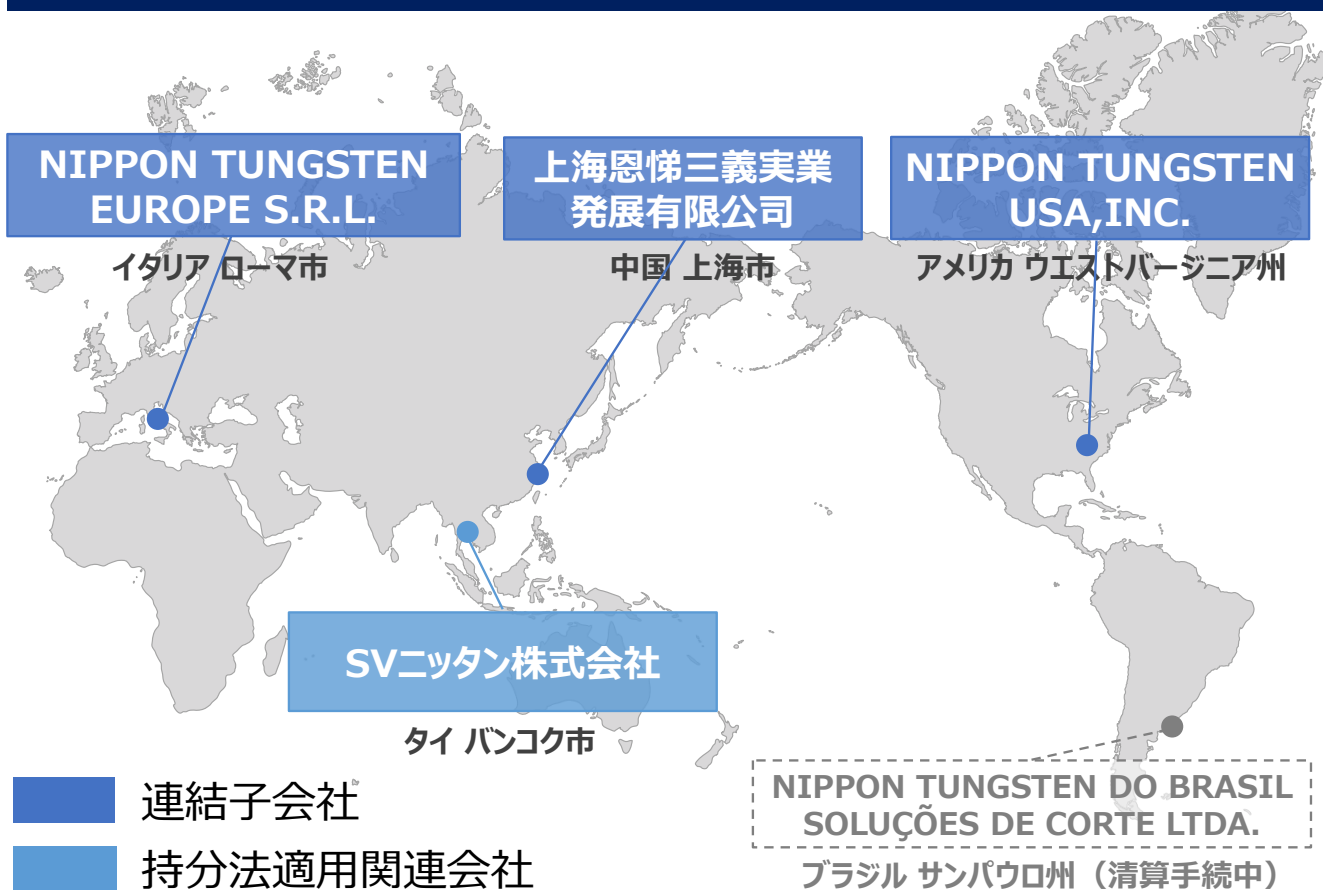
佐賀県

福岡県

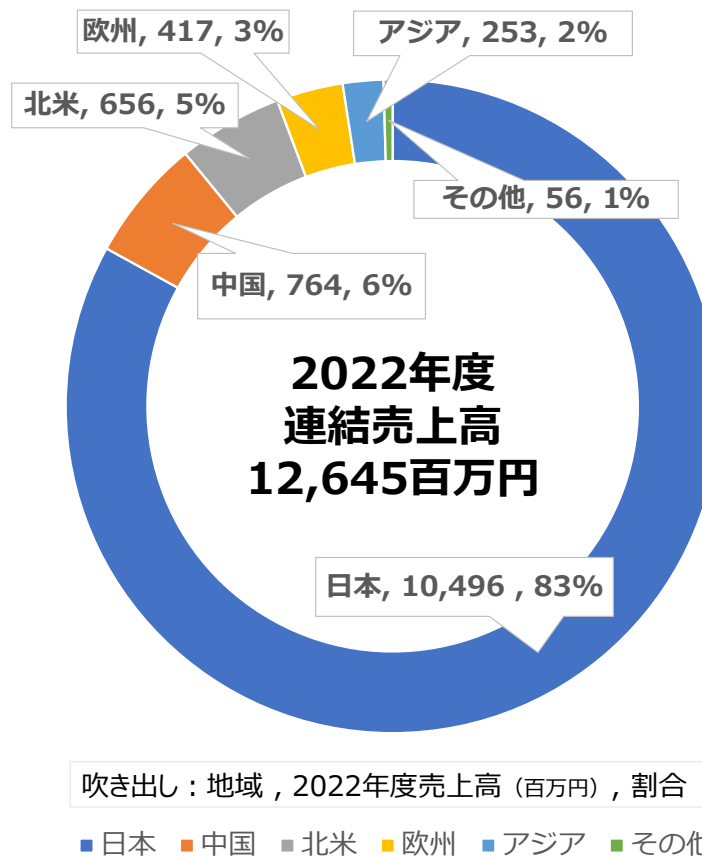
他に営業事務所を設置
東京事務所
大阪事務所
刈谷事務所 (愛知県)

海外事業拠点

- NTダイカッターの販売・再研磨事業拠点
- 中国は、上記の他、梱包機・電極・EVリレー用接点等の拡販拠点



地域別売上高 (海外売上高比率17%)



2. 事業内容の紹介



タングステンの特徴と製品への活用

■タングステンの特性や、他の金属と組み合わせることで様々な用途に製品展開している。

タングステン W

レアメタルのひとつ。
元素記号の「W」は、スウェーデン語で「重い石」を意味する。



タングステン鉱石

融点が高い(熱に強い)



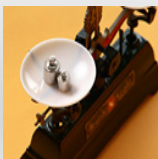
融点(溶ける温度)は3380℃
(鉄は約1500℃)
高融点でアーク消耗が少ない

非常に硬い(摩耗しにくい)



炭素原子と結びついたタングステン
カーバイドはダイヤモンドに次ぐ硬さ

重い(高密度)



同じ大きさの鉄の2.5倍、
鉛の1.7倍
放射線を通しにくい

「特性を生かした独自の製品開発・加工技術力」
「高度な粉末冶金技術」

融点が高い
熱に強い

高温環境下において使用される
高耐熱部材

融点が高い
熱に強い

導電性の高い銅や銀と組み合わせた
電極部材

非常に硬い
摩耗しにくい

硬さを生かした超合金製の
耐摩耗・切削用部材

非常に硬い
摩耗しにくい

高密度
放射線を通しにくい
造影性に優れている

放射線遮へい能力と造影性に優れた
医療用部材

製品開発の歴史

マテリアルから始まる価値創造に挑戦し続けます。



創立者の一人である秋山英二は、タングステンの有望性に着目、アメリカ人技術顧問 ロジャース氏の指導を受けた。

その後、照明用タングステンワイヤーだけでなく電気接点や複合金属・加工品も手掛けたいとの思いから、1931年に当社を設立。

【当社の生産方式】 多種多様な顧客ニーズに対応した多品種少量生産体制



**金属材料製品
(タングステン製品)**

- 創業時の電球フィラメントが製品の出発点
- コピー機や空気清浄機の放電線、自動車の接点(ホーン)等に使用



**電気・電子製品
(タングステン合金)**

- 1930年代からタングステンに銅、ニッケル、鉄等を少量加え、粉末冶金法で製造
- 放射線遮蔽材料、半導体部品、機械部品、EV用接点・電極等に使用



**超合金製品
(タングステンカーバイド合金)**

- 1950年代からタングステンカーバイドとコバルトを粉末冶金法で製造
- 発電所・製鉄所向け耐食耐摩耗部材、NTダイカッター等に使用



**セラミクス製品
(セラミクス材料)**

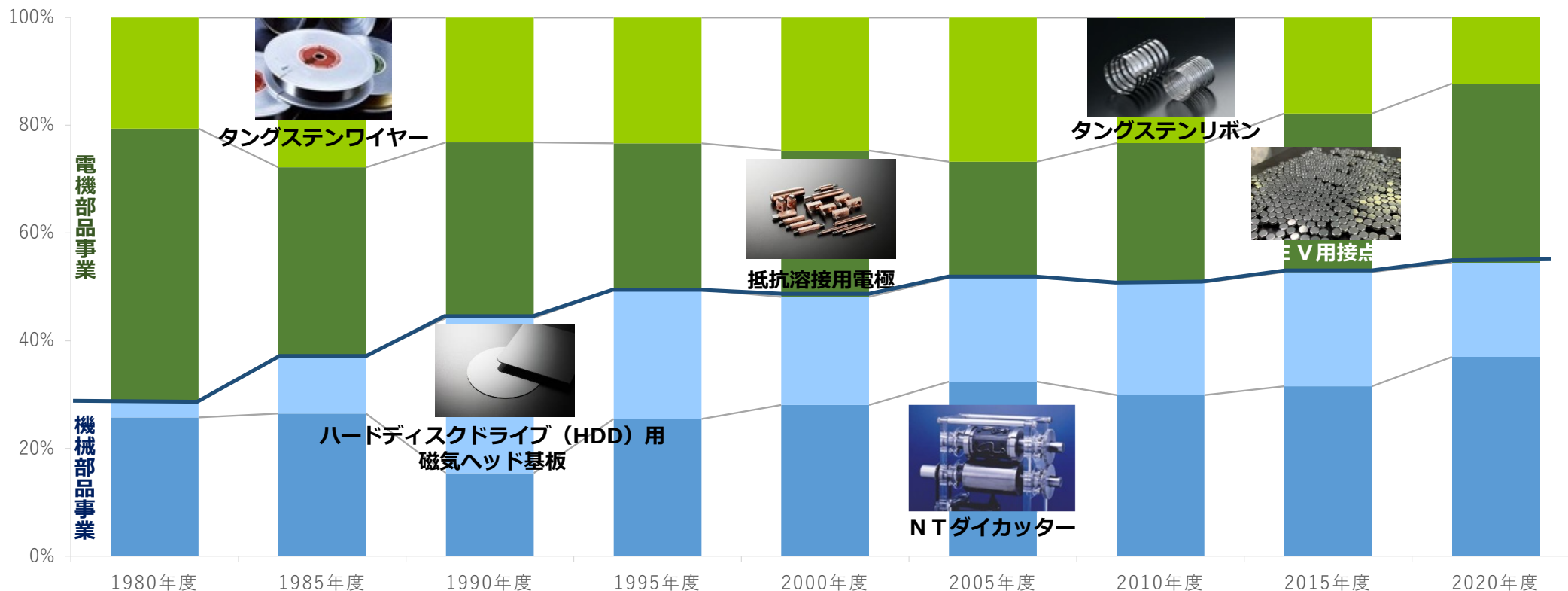
- 1960年代からファインセラミクスを製造
- 磁気ヘッド基板等の半導体関連製品、耐食耐摩耗部材等に使用

材料別売上構成比の遷移

照明用タングステン線 → 電気接点製品 → 超硬合金（工具・刃物） → セラミック製品（工具・基板）と商品構成が変化

(商品構成比率：%)

■ 超硬合金 ■ セラミック ■ 電気・電子材料 ■ 金属材料



当社の製品群とターゲット市場

機械部品事業



超合金製品
(タングステンカーバイド合金)



セラミックス製品
(セラミックス材料)

電機部品事業

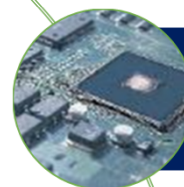


金属材料製品
(タングステン製品)



電気・電子製品
(タングステン合金)

当社のターゲット市場



半導体・電子部品市場



自動車部品市場



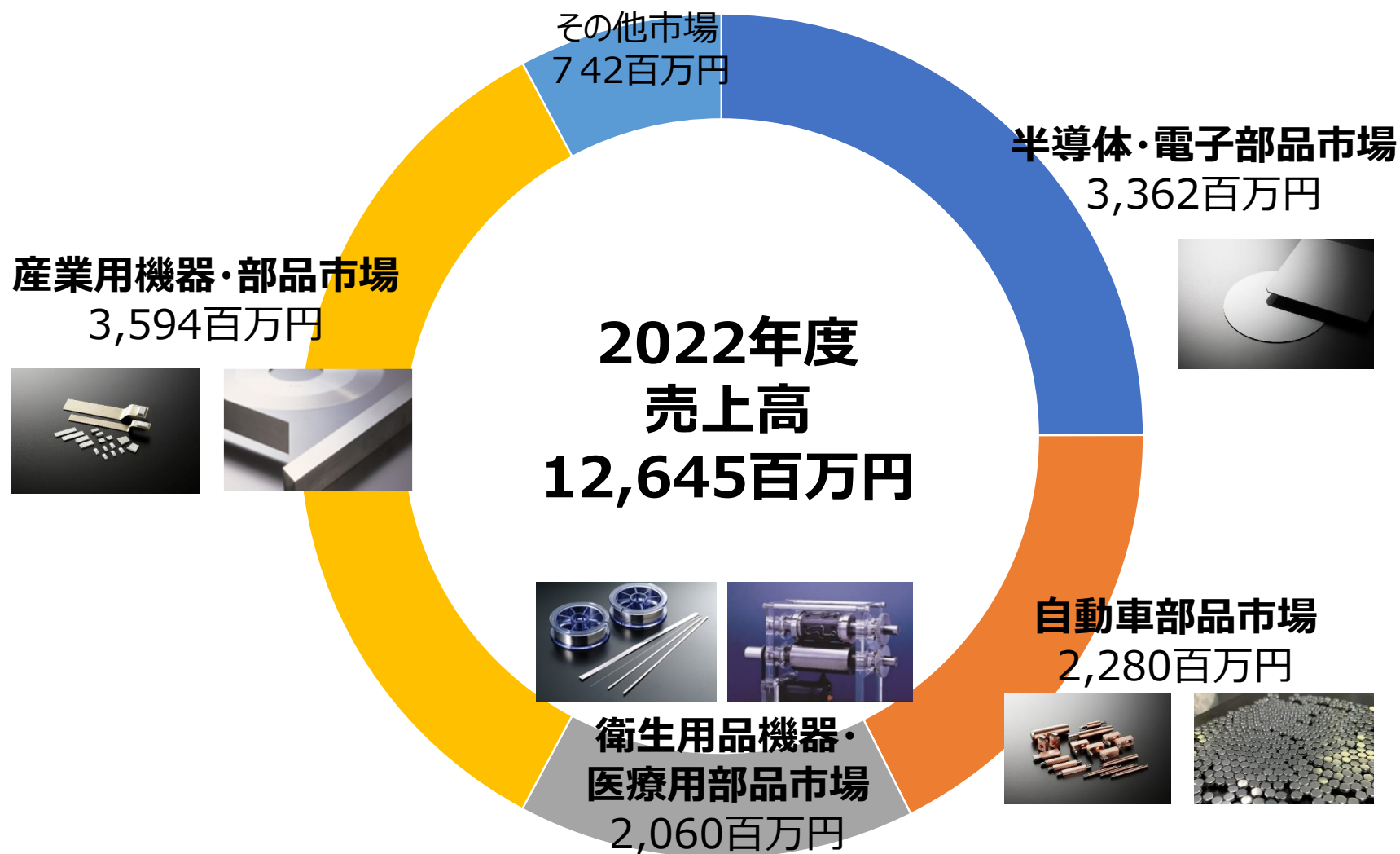
産業用機器・部品市場



衛生用品機器・医療用部品市場

人々の暮らしに大きく関連する市場分野の設備投資や製品に部材を供給。

事業セグメントの売上高





3. 日本タングステングループ 長期的なビジョンと事業戦略

3. 日本タングステングループ 長期的なビジョンと事業戦略

(1) サステナビリティ経営の実装と 長期ビジョン

■企業理念 | Our Corporate Philosophy

日本タングステンは、
世界の人々と従業員の明るい未来を実現するために
-マテリアルからはじまる価値創造に挑戦し続けます。
-常にNo.1を目指し、かけがえのない存在であり続けます。

■行動規範 | Our Way

- ・私たちは、情熱を持って、失敗を恐れずチャレンジします。
- ・私たちは、当事者意識を持って、すぐ行動しやり遂げます。
- ・私たちは、相手の立場になって、期待以上で応えます。



パーパス

より少なく、よりよく。

BUILDING A BETTER WORLD FROM LESS.

これまで。
社会の声にストイックであり続けた。
より少なく、よりよく。
それは、社会に対するわたしたちの解答。歩み。哲学。
そして、マテリアルを追求してきたことの証。

これから。
わたしたちが耳を傾けるもの。それは未来の声だ。
人々の困りごとに。大量消費のない社会に。限りある時間に、資源に。
何より、希望へとつながる明日に。

点と点、人と人をつなげ、たくさんの声に応えてゆこう。
新しい思考を取り込みながら。想像力を創造力へ。
すべての人がワクワクするような未来へ。
できるはずだ。ずっとそうしてきたのだから。
これからも、きっと。

変化とともに在ろう。

今よりもっと、より少なく。よりよく。

2023年5月制定

OUR PURPOSE

より少なく、よりよく。
BUILDING A BETTER WORLD FROM LESS.

OUR PURPOSE FOR THE FUTURE

私たちが社会に提供する価値であり、私たちの存在意義。

経営理念

パーパス

サステナブルビジョン

MANAGEMENT PRINCIPLES

私たちが最も大切にする考え方や姿勢。

SUSTAINABLE VISION 2050

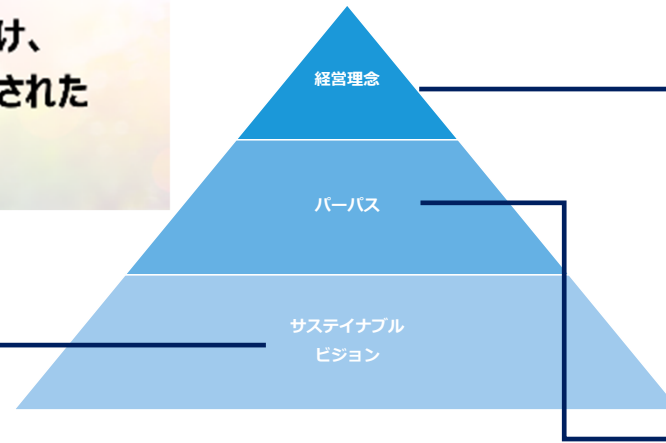
私たちが2050年までに目指す、持続可能な社会に貢献している姿。



サステイナブルビジョンとマテリアリティ

Sustainable Vision 2050

「より少なく、よりよく。」に共感する多くのパートナーと共に、物質的制約を超えていくソリューションを創造し続け、資源の枯渇や気候変動といった社会課題が解消された世界を実現している。



経営理念

企業理念 Our Corporate Philosophy

日本タングステンは、世界の人々と従業員の明るい未来を実現するために

- マテリアルからはじまる価値創造に挑戦し続けます。
- 常にNo.1を目指し、かけがえない存在であり続けます。

行動規範 Our Way

- ・私たちは、情熱を持って、失敗を恐れずチャレンジします。
- ・私たちは、当事者意識を持って、すぐ行動しやり遂げます。
- ・私たちは、相手の立場になって、期待以上で応えます。



サステイナブルビジョンを達成するための
“成功の柱” ≡ マテリアリティ

カーボンマイナスへの挑戦

枯渇リスクの高い資源の有効活用

提供価値の転換と新たな価値の創出

働きがいと創造力のスパイラルアップ

リアルとデジタルの融合

中期経営計画の一環として取組み開始

サステイナブルビジョン Sustainable Vision

「サステナビリティ経営基本計画」を策定。サステナビリティ経営委員会（2023年5月設置）が中心となり、全社横断的な活動を推進し、環境課題・社会課題への対応や社会貢献活動に取り組む。









Sustainable Vision 2050

「より少なく、よりよく。」に共感する多くのパートナーと共に、物質的制約を超えていくソリューションを創造し続け、資源の枯渇や気候変動といった社会課題が解消された世界を実現している。

サステナビリティ経営のHPへのリンク：<https://www.nittan.co.jp/sustainability/>



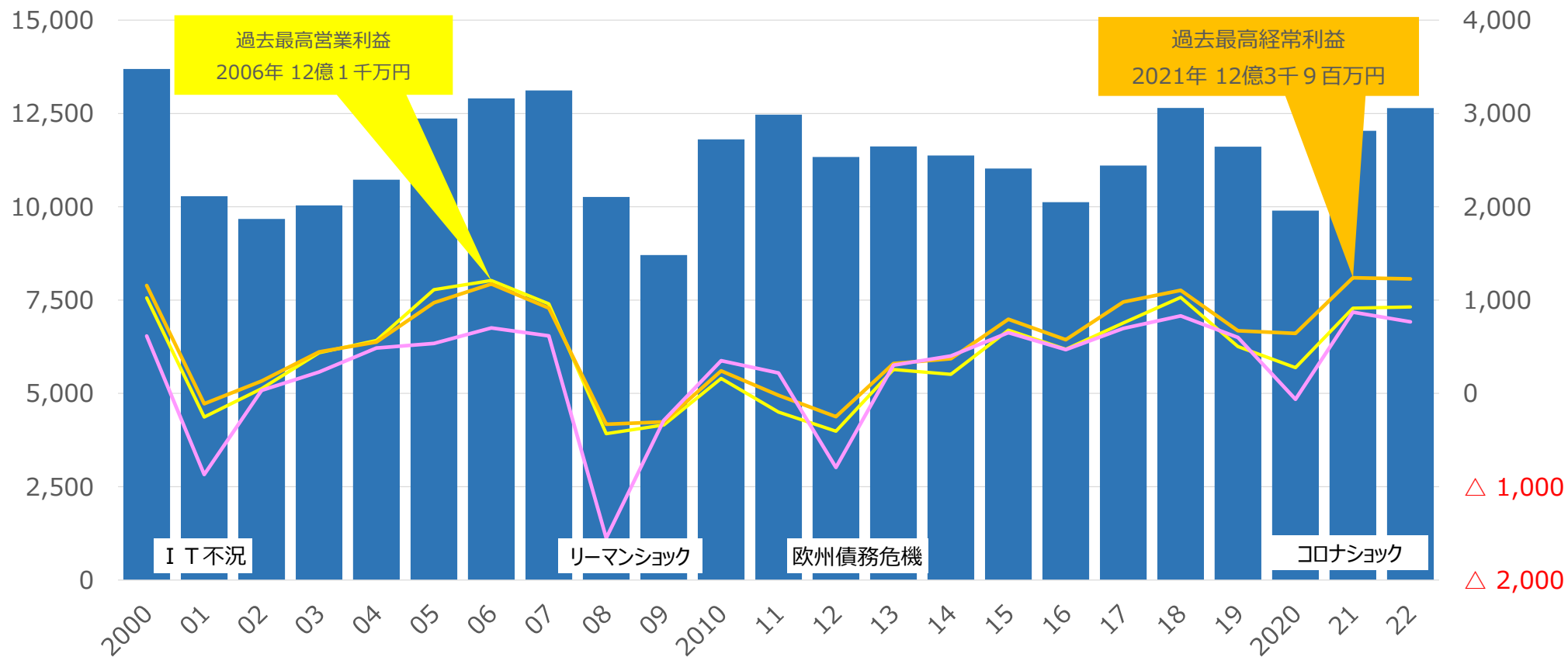
成功の柱が目指す姿

成功の柱	成功の柱	2050年の目指す姿	関連するSDGs
CN	カーボンマイナスへの挑戦	実質カーボンマイナスを達成します。	
CE	枯渇リスクの高い資源の有効活用	枯渇リスクの高い資源の最終廃棄をゼロにします。	
CV	提供価値の転換と新たな価値の創出	消費資源量あたりの価値を大きく飛躍させるビジネスモデルを構築します。省エネ、省資源、脱炭素などの社会課題解決につながるソリューションの提供を中核事業とします。	 
CW	働きがいと創造力のスパイラルアップ	エンゲージメントが高く、多様な価値観を有し、専門性を高め合う人々が集う企業になります。	  
CX	リアルとデジタルの融合	デジタル技術の活用により人々の働き方や事業そのものの変革を行い、「生産性の向上」、「変化への対応・意思決定の迅速化」、「新しいビジネスモデルや顧客価値の創出」を実現します。	

2000年以降の業績

日本タングステングループ 業績の推移

■売上高 — 営業利益 — 経常利益 — 親会社株主に帰属する当期純利益





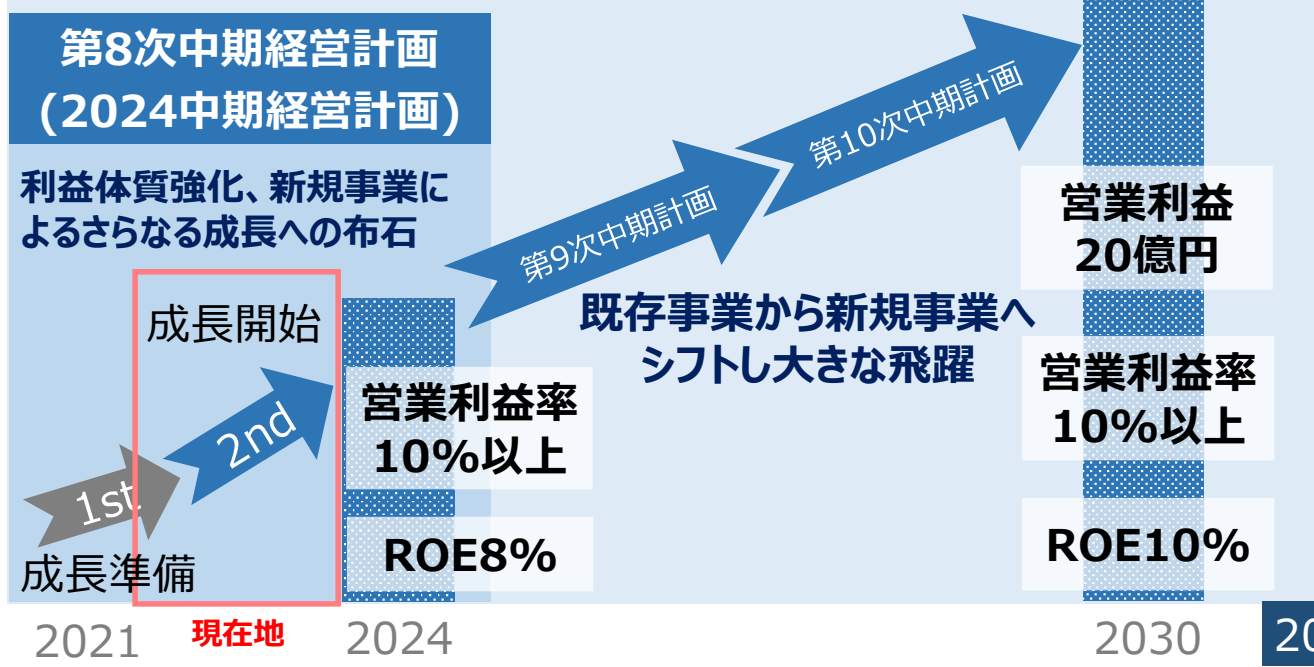
長期的なビジョン

サステイナブルビジョン2050の達成に向けて、2030年度に、営業利益20億円営業利益率10%以上、ROE 10%を目指している。2024中期経営計画は収益構造の転換と新商品の創出に取り組み、2024年度に営業利益率10%以上、ROE 8%を目指す。

サステイナブルビジョン2050

日本タングステングループ長期ビジョン

「より少なく、よりよく。」に共感する多くのパートナーと共に、物質的制約を超えていくソリューションを創造し続け、資源の枯渇や気候変動といった社会課題が解消された世界を実現している。



- サステイナブルビジョンを達成するための
“成功の柱” ≡ マテリアリティ
- カーボンマイナスへの挑戦
 - 枯渇リスクの高い資源の有効活用
 - 提供価値の転換と新たな価値の創出
 - 働きがいと創造力のスパイラルアップ
 - リアルとデジタルの融合

2031 創立100周年 2050



3. 日本タングステングループ 長期的なビジョンと事業戦略

(2) 2024中期経営計画の進捗状況



2024中期経営計画 2nd Stage基本戦略

「日本タングステングループ2024中期経営計画」の2ndステージでは、サステナビリティ経営を中期経営計画に実装し、サステイナブルビジョン2050の実現を目指す。



サステナビリティ経営の実装・実践

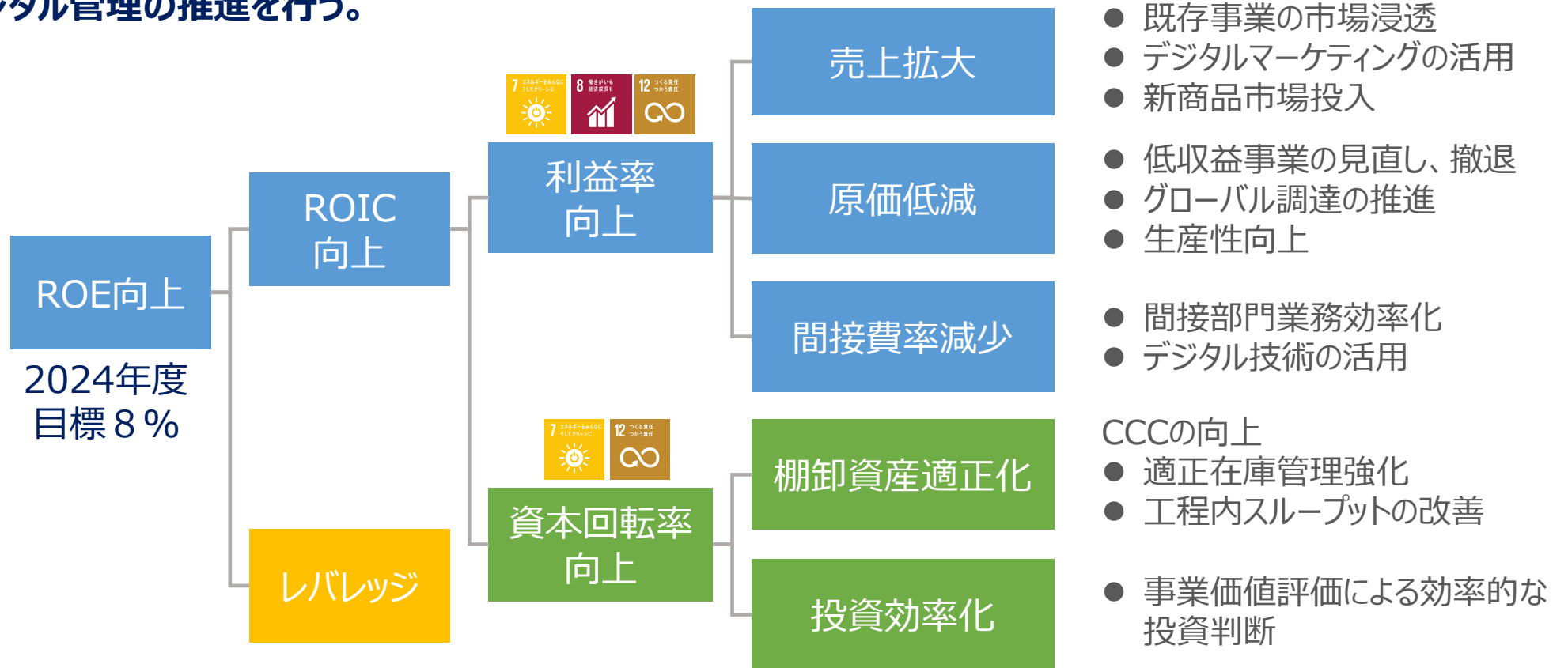
- サステナビリティ経営委員会の発足、全社連携で施策推進
- パーパス・ビジョンの浸透、働きがいのある職場づくり



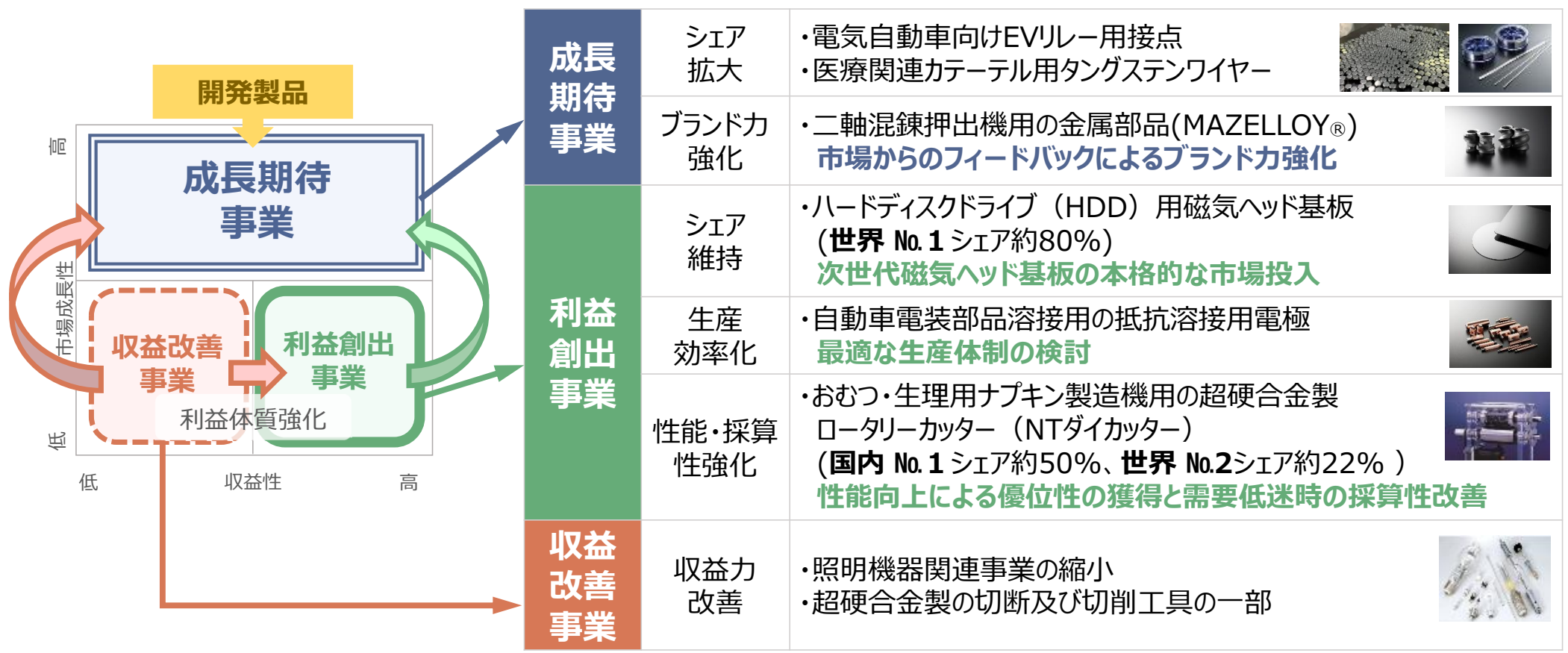
2024中期経営計画 2nd Stage 1 既存事業の価値最大化

収益改善事業の取捨選択や、高収益事業の利益体質強化により、事業ポートフォリオを再編し、事業価値を最大限に高める。

1st Stageから継続して、生産性効率化を目的とした抜本的な工程の配置等を見直し。工程におけるデジタル管理の推進を行う。



ポートフォリオを再編し、利益創出事業で得たリソースを成長期待事業へ集中し成長していく





2024中期経営計画の進捗

1stステージ実績

・新型コロナウイルス感染症による業績悪化から概ね回復し、順調に推移。

2ndステージ見通し

・2ndステージ前半は、半導体・電子部品市場や自動車部品市場の在庫調整等による一時的な需要減の影響から減収となり、厳しい需要環境でのスタートとなることが見込まれる。
・2024年3月期第1四半期の連結業績は概ね予想通りに推移している。

連結	2020年度 実績	1 st Stage		2 nd Stage	
		2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 予想	2024年中計 最終年度目標
売上高	98.9億円	120.3億円	126.5億円	120億円	130億円
営業利益	2.7億円	9.1億円	9.3億円	6.2億円	10億円
営業利益率	2.8%	7.6%	7.3%	5.2%	8%
ROE	△0.6%	8.4%	7.0%	4.9%	8%
研究開発費	2.6億円	3.1億円	3.3億円	3.2億円	14億円/4年 (3.5億円/年)
設備投資額	3.2億円	2.6億円	6.1億円	15.6億円	32億円/4年 (8億円/年)
株主還元 (1株当たり配当金)	40円	120円	120円	100円	120円

※詳細は当社ホームページの経営計画サイトをご参照ください。(https://www.nittan.co.jp/company/b_policy/plan)



3. 日本タングステングループ 長期的なビジョンと事業戦略

(3) 4つのターゲット市場と注力製品



ターゲット市場と注力製品

4つのターゲット市場にコア技術を生かした製品群を投入。

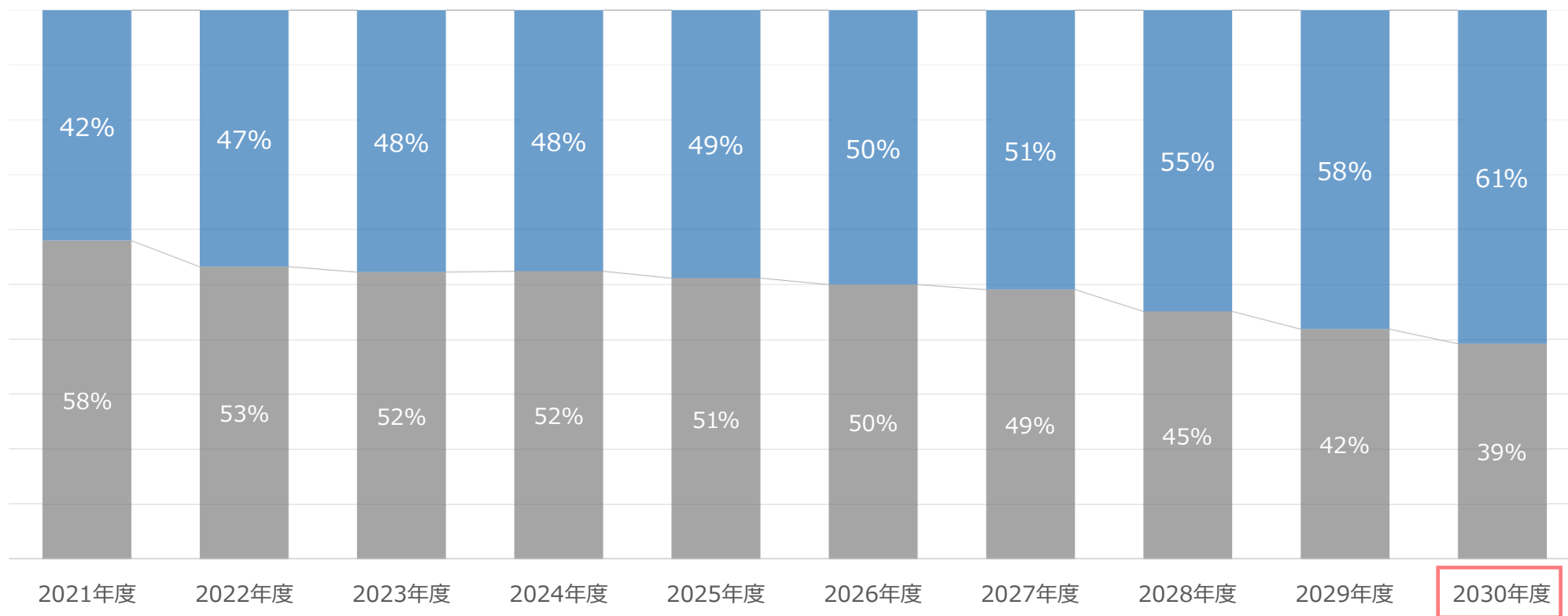
ターゲット市場	事業セグメント別の注力製品	
	機械部品事業	電機部品事業
半導体・電子部品市場	 <p>ハードディスクドライブ(HDD)用磁気ヘッド基板 世界 No.1 シェア(当社調べ)</p>	 <p>プラズマ電極</p>
自動車部品市場	 <p>二軸押出機用部材 「MAZELLOY®」 (コンパウンド混錬機用) 新商品</p>	 <p>EVリレー用接点</p>  <p>抵抗溶接用電極 (電装部品溶接用)</p>
産業用機器・部品市場	 <p>産業用設備向け耐摩耗部材 液晶塗付用超硬長尺製品</p>	 <p>ブレーカー用電気接点</p>
衛生用品機器・医療用部品市場	 <p>NTダイカッター 国内 No.1 シェア(当社調べ) 世界 No.2 シェア(当社調べ)</p>	 <p>医療関連カテーテル用 タングステンワイヤー製品</p>

注力製品が売上高に占める割合

- 事業ポートフォリオ再編による既存事業の価値最大化を図ることで、注力製品※の売上占有率を、2021年度の42%から2030年の60%程度まで高める。
※磁気ヘッド基板、EVリレー用接点、MAZELLOY®等

注力製品が売上高に占める割合

■ 注力製品以外の売上比率 ■ 注力製品の売上比率



3. 日本タングステングループ 長期的なビジョンと事業戦略

(4) 4つのターゲット市場と注力製品

① 【自動車部品市場】

二軸混錬押出機用部材 MAZELLOY®

注力製品紹介 (二軸混練押出機用部材 MAZELLOY®)

■ 樹脂（プラスチック）は自動車の3大材料のひとつ

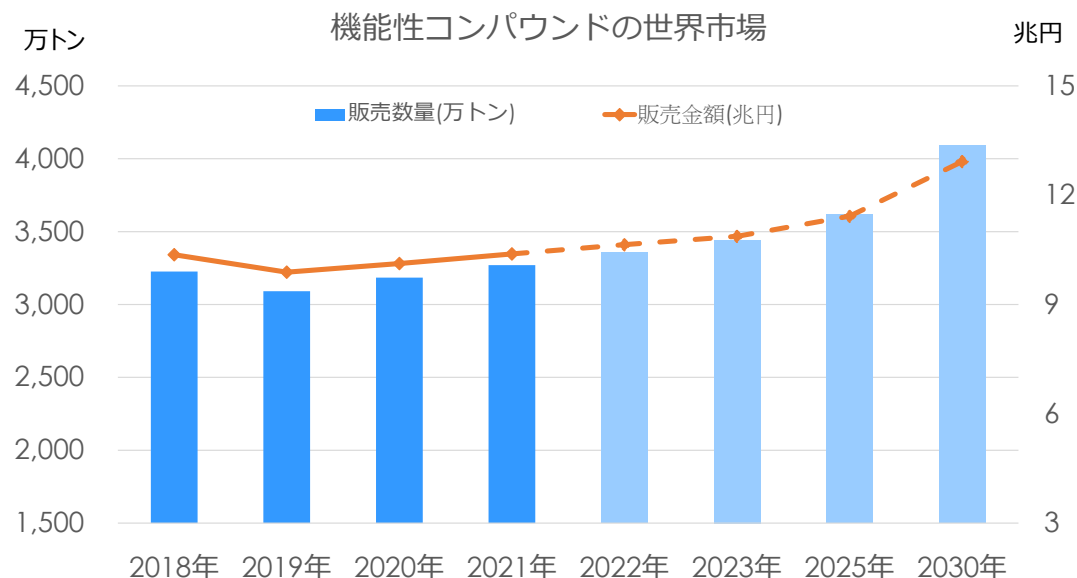
- 樹脂（プラスチック）は自動車の3大材料（鉄・アルミ・樹脂）のひとつ。電動化の進展などで様々な製品・部品の軽量化ニーズは高まっている。
- ベースとなる樹脂にガラス繊維や添加剤などを混ぜ合わせ、強度や難燃性などの優れた機能を持つ高機能プラスチックに加工することを「コンパウンド」という。

■ 機能性コンパウンド市場

- EV化により、自動車ボディの軽量化が進むことから、機能性コンパウンド市場は2023年には2017年比で2.5%の成長を予測し、その後も順調に伸びていく見込み。

■ 高機能プラスチックの用途が拡大

- 自動車のプラットフォーム、ルーフ、ドア、フードなどでCFRP（炭素繊維強化プラスチック）の需要が拡大。



出展元：(株) 富士経済調べ

注力製品紹介 (二軸混錬押出機用部材 MAZELLOY®)

■ 二軸混錬押出機用部材“MAZELLOY®”用の材料開発

- 二軸混錬押出機は2本のスクリューを用いてコンパウンドを行うための装置。自動車部品をはじめとする各種用途のコンパウンド製造のため、世界各国で活用されている。

MAZELLOY®



新材料「MZII」の概要

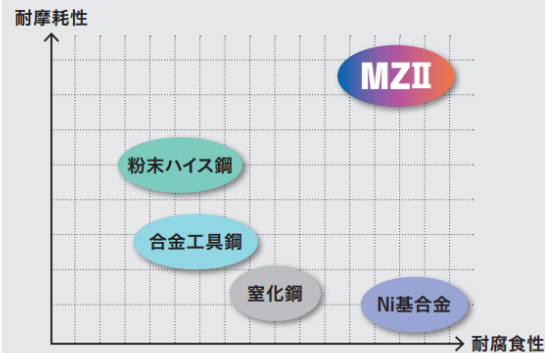
それぞれの材料の長所を活かしつつ、
欠点を補い合った新しい複合材料

開発
コンセプト



新材料「MZII」のポジショニング

耐摩耗性 × 耐腐食性を兼ね備えた
オールインワンの新材料「MZII」



適用箇所

- 二軸押出機関連部材 (スクリューエレメント、バレル等)
- 射出成形機関連部材 (成形金型、スクリュー先端部品等)

コストダウン
(部材の交換頻度削減)

製造物の品質向上
(腐食・摩耗に強く摩耗成分の混入最小化)

管理工数削減
(多用途の生産に対応)



注力製品紹介 (二軸混練押出機用部材 MAZELLOY®)

■ 持続可能な社会への貢献

- 車体軽量化のための高機能プラスチック素材や、次世代蓄電池の生産課題を解決することで、EV化を加速させ社会の低炭素化に貢献。
 - ✓ 車の軽量化に貢献 … **脱炭素**
 - ✓ 耐久性向上 … **廃棄物削減 (資源の有効活用)**

■ 認知度の向上

- MAZELLOY®の普及に向けて、認知度の向上と拡販に注力。

2022年“超”モノづくり部品大賞
(主催：モノづくり日本会議/日刊工業新聞社)
「日本力 (にっぽんぶらんど) 賞」を受賞

2022年12月1日付日刊工業新聞「MZ II 開発」記事掲載。
当社HPよりリンク「https://www.nittan.co.jp/topics/topics_page_1_586.html」

当社のMAZELLOY開発チームが
第9回ものづくり日本大賞「優秀賞」を受賞
(主催：経済産業省ほか)

当社HPよりリンク
「https://www.nittan.co.jp/topics/topics_page_1_594.html」



3. 日本タングステングループ 長期的なビジョンと事業戦略

(4) 4つのターゲット市場と注力製品

②【半導体・電子部品市場】

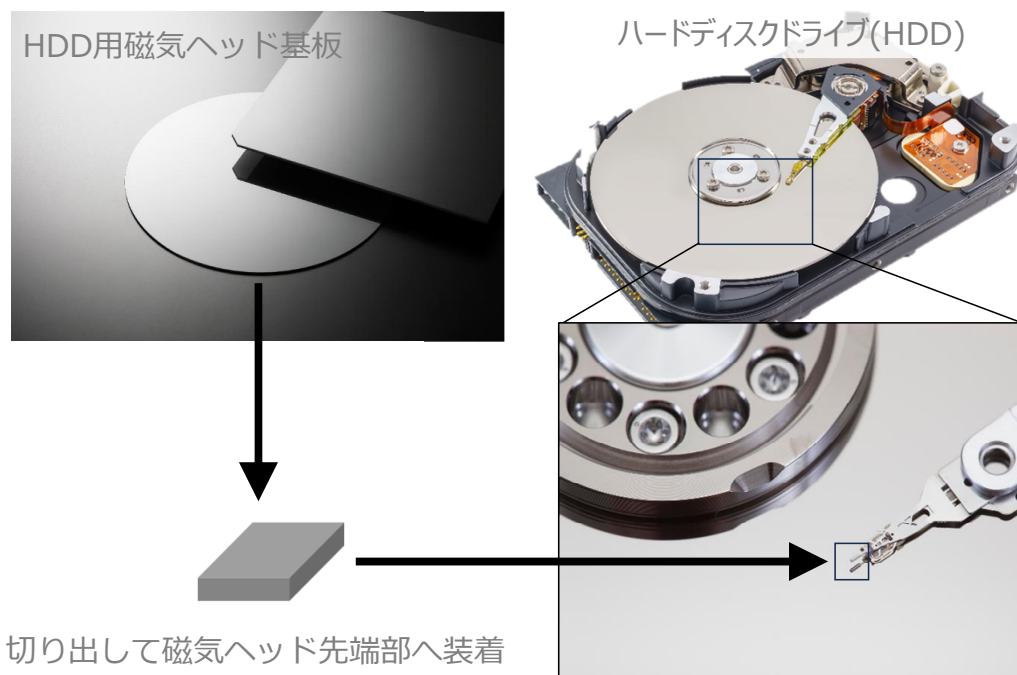
ハードディスクドライブ（HDD）用 磁気ヘッド基板

注力製品紹介(HDD用磁気ヘッド基板)

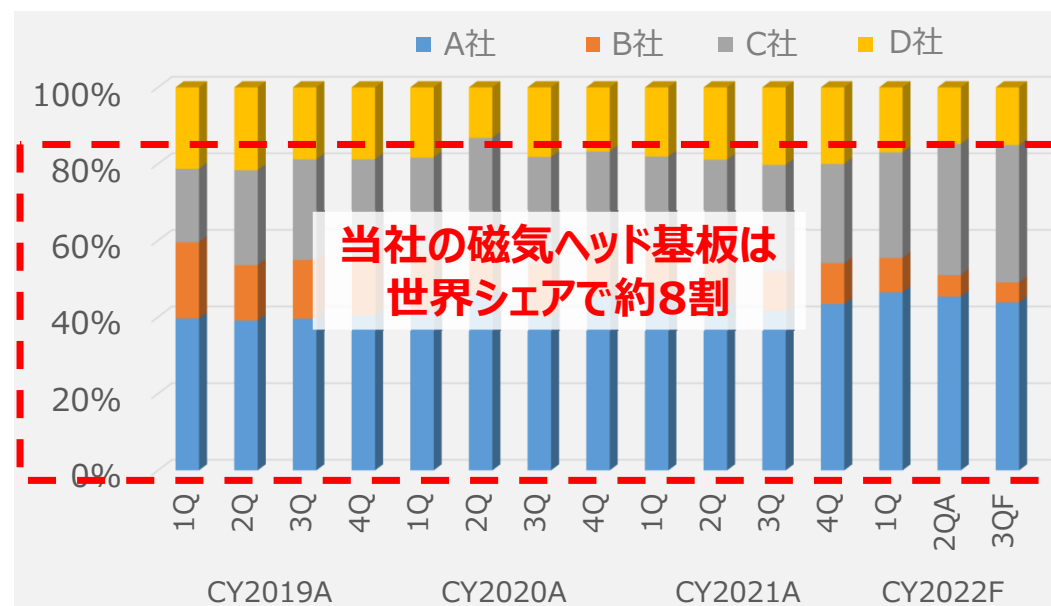
半導体
電子部品市場

■ ハードディスクドライブ (HDD) 用磁気ヘッド基板

- ハードディスクドライブ (HDD) のデータの読み取り部分 (磁気ヘッド) その土台となるのが「磁気ヘッド基板」
- 高純度、緻密であり、微細で均質な結晶粒子から成る、高品質製品
- 磁気ヘッドサイズの小型化と基板の大口径化・薄型化といった顧客のニーズに応え、圧倒的なシェアをもつ。



世界の磁気ヘッドメーカーシェア (当社調べ)



注力製品紹介(HDD用磁気ヘッド基板)

半導体
電子部品市場

NIPPON TUNGSTEN CO.,LTD. 39

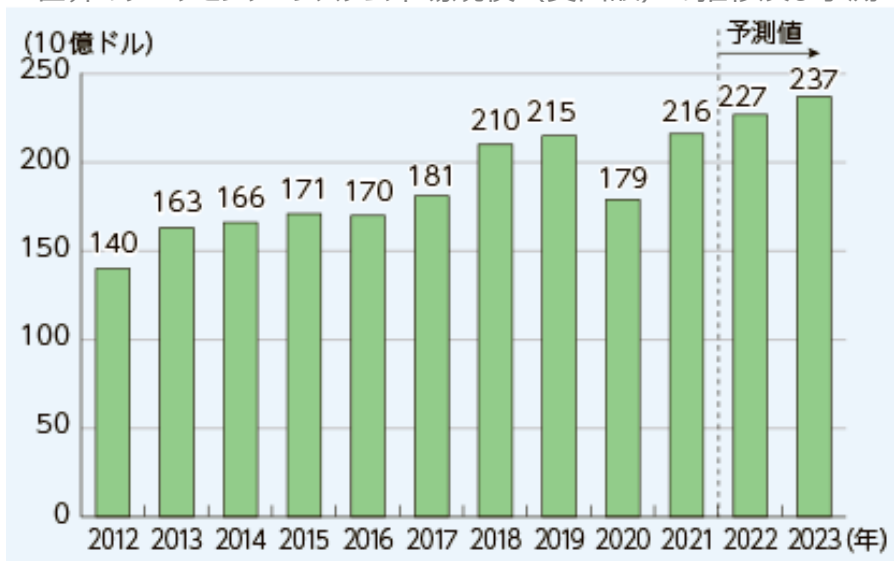
■ データセンター市場の動向

- DX(デジタルトランスフォーメーション)、高速通信規格「5G」、クラウドサービスの普及によりデータ流通量は増加傾向。
- データセンターの能力拡張といった潜在需要は強く、中長期的に国内、海外とも需要は堅調に推移していく見込み。

※データセンター:サーバーをはじめとする情報通信機器などを集積して設置・保管・運用することに特化した設備

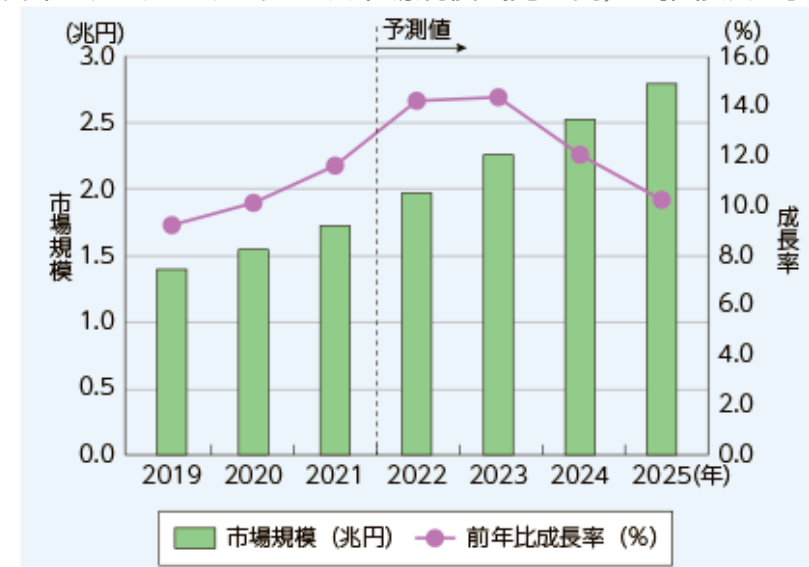


世界のデータセンターシステム市場規模（支出額）の推移及び予測



(出典)Statista(Gartner)¹¹

日本のデータセンターサービス市場規模（売上高）の推移及び予測



(出典)IDC Japan¹²

出典：令和4年版情報通信白書（総務省）

3. 日本タングステングループ 長期的なビジョンと事業戦略

(2) 4つのターゲット市場と注力製品

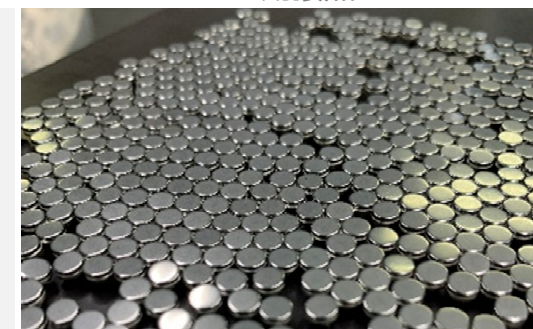
③ 【自動車部品市場】 EVリレー用接点

注力製品紹介 (EVリレー用接点)

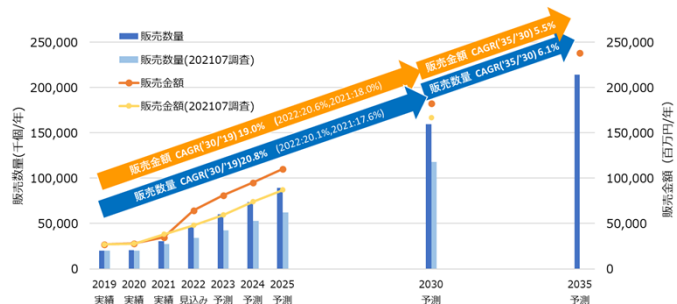
EVリレー用接点の役割

- EV車1台にEVリレーは3～4個搭載される。当社製品 (EVリレー用接点) はEVリレーに搭載され、事故などの緊急時にバッテリー、モーターの電流を瞬時に完全に遮断する重要な役割を持つ。
- 世界のEV市場の急成長とともに、EVに搭載されるシステムメインリレー市場は2030年までに20%以上の市場成長を予測し、今後大きく拡大していく見込み。

EV用接点

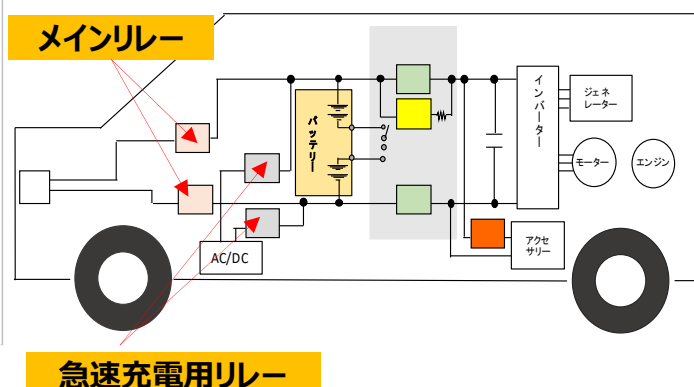


SMR (システムメインリレー) 販売市場規模 (W/W)



(富士キメラ総研「車載電装デバイス&コンポーネンツ総調査」をもとに作成)

EV、HEV向けEVリレーのアプリケーション例



持続可能な社会への貢献

✓ EV車の普及に貢献 ... 脱炭素

3. 日本タングステングループ 長期的なビジョンと事業戦略

(4) 4つのターゲット市場と注力製品

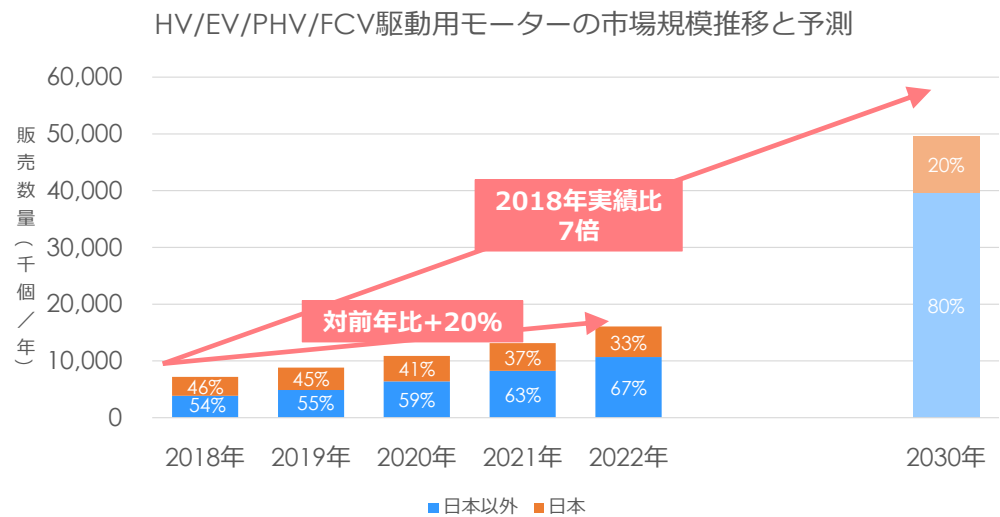
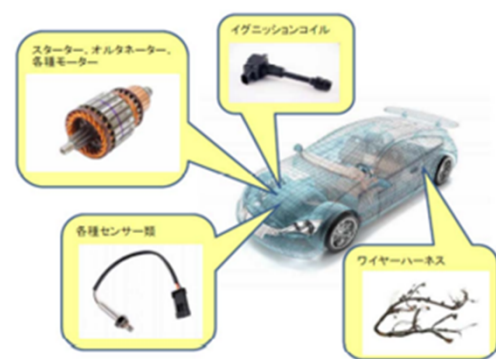
④ 【自動車部品市場】

電装部品溶接用の抵抗溶接電極

注力製品紹介 (電装部品溶接用の抵抗溶接電極)

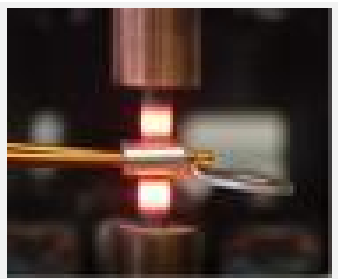
■ 抵抗溶接用電極の用途

- 当社の抵抗溶接用電極は、主に銅材料の溶接に使用され、ワイヤーハーネスやモーターといった自動車製造に欠かせない電装部品の溶接用の電極として使用されている。
- 2030年には2018年実績比で、当社製品の主要用途であるワイヤーハーネスの需要は1.4倍、駆動用モーターの需要は7倍になると予測され、順調に伸びていく見込み。



(注) %の数字は全体に占める日本、日本以外市場それぞれの割合 (SVPジャパン「車載ワイヤーハーネス市場調査」をもとに作成)

抵抗溶接：被溶接物を電極で加圧しながら電流を流し、被溶接物の自己抵抗発熱により局所的に接合する工法



電装部品のヒュージング工程

持続可能な社会への貢献

✓EV車の普及への貢献 ... 脱炭素

3. 日本タングステングループ 長期的なビジョンと事業戦略

(4) 4つのターゲット市場と注力製品

⑤ 【衛生用品機器・医療用部品市場】 超硬合金製ダイカッター

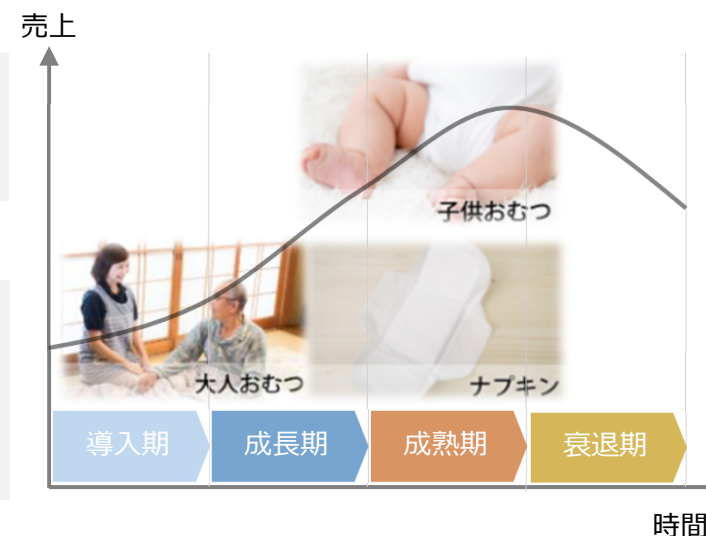
注力製品紹介（超合金製ダイカッター）

■ 世界のおむつ市場の動向

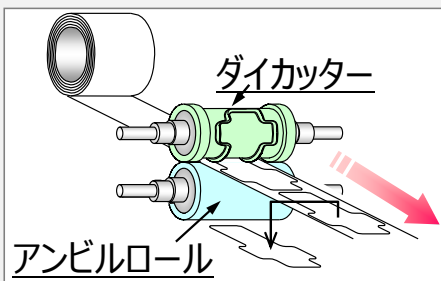
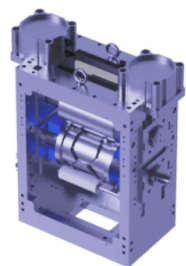
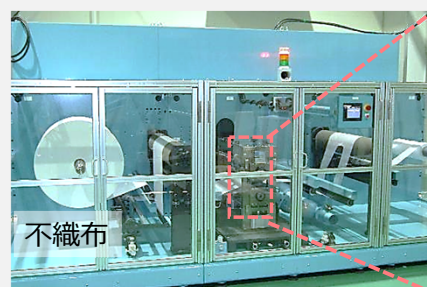
- 少子化の進展に伴い、子供おむつ・生理用ナプキン市場は成熟期を迎える。また、高齢化の進展に伴い、大人用おむつ市場は大きな成長が見込まれる。

■ 衛生用品製造機用ダイカッターの特徴

- 1986年、当社のNTダイカッター®は、世界で初めて実用化された 高性能超合金製ロータリーカッターで、不織布・紙・ポリマー・金属箔などの高速輪郭加工を可能とする。
- **国内 No. 1** (シェア約50%)、**世界 No. 2** (シェア約22%) 【当社調べ】



不織布切断工程
(当社テストライン)



NTダイカッター®

持続可能な社会への貢献

- ✓ 衛生用品の普及に貢献
 - … **世界の人々の健康と福祉**
- ✓ 耐久性向上
 - … **廃棄物削減資源の有効活用**

3. 日本タングステングループ 長期的なビジョンと事業戦略

(2) 4つのターゲット市場と注力製品

- ⑥ 【衛生用品機器・医療用部品市場】
カテーテル用タングステンワイヤー・リボン

■ カテーテル治療におけるタングステンワイヤー・リボンの役割

- 高密度・高比重のタングステンワイヤー・リボンは放射線の遮蔽力が高いことから、カテーテル線の内部に使用することにより、X線で撮影した画像が鮮明となる。
(X線の照射量を減らすことができるため患者の身体的負担軽減に貢献)
- 毛髪よりも細く加工することが可能なことから、カテーテル線の細線化にも貢献。
- カテーテルの世界市場規模は拡大中。

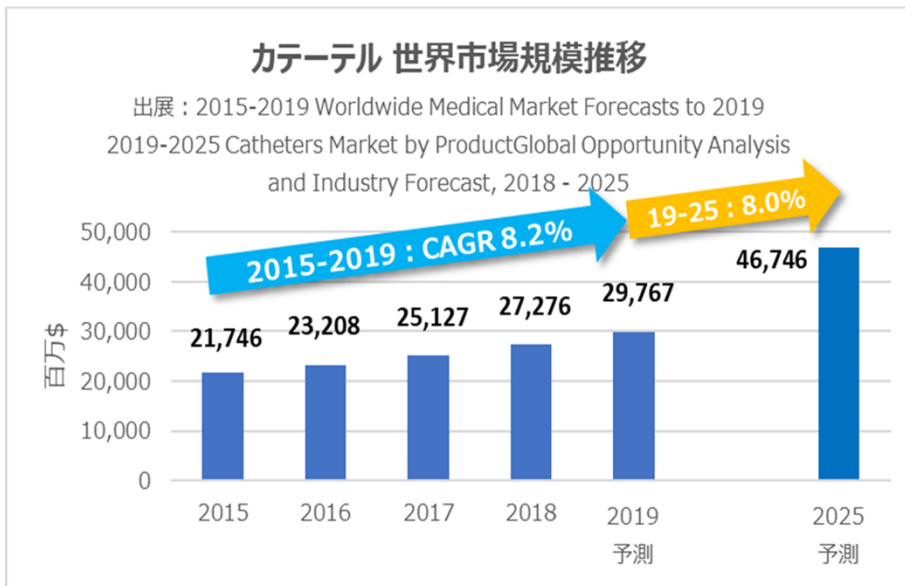
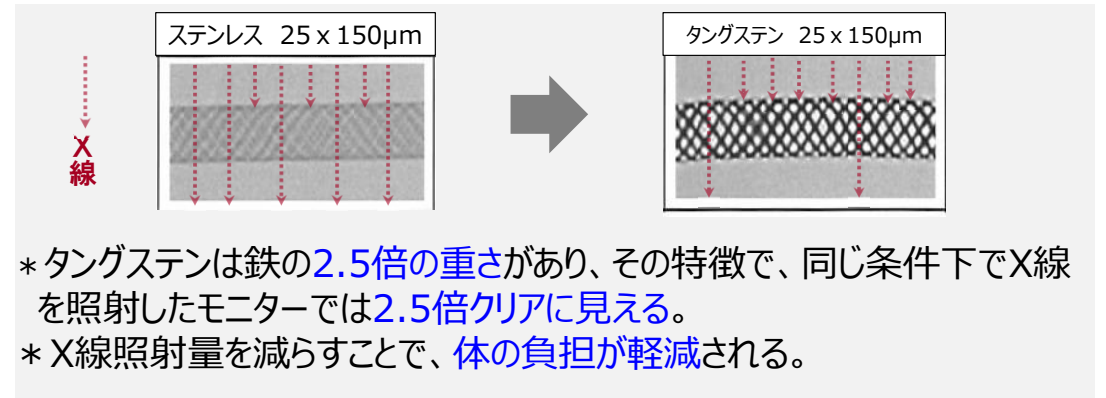
タングステンワイヤー



タングステンリボン



X線を通しにくいタングステンの特徴を利用



持続可能な社会への貢献

✓ 低侵襲医療の普及に貢献 … 世界の人々の健康と福祉

3. 日本タングステングループ 長期的なビジョンと事業戦略

(4) 4つのターゲット市場と注力製品

- ⑦ 【衛生用品機器・医療用部品市場】
**手術支援ロボット用
タングステンワイヤーロープ**

注力製品紹介

手術支援ロボット用 タングステンワイヤーロープ

衛生用品機器
医療用部品市場

NIPPON TUNGSTEN CO.,LTD. 49



■ 手術支援ロボット

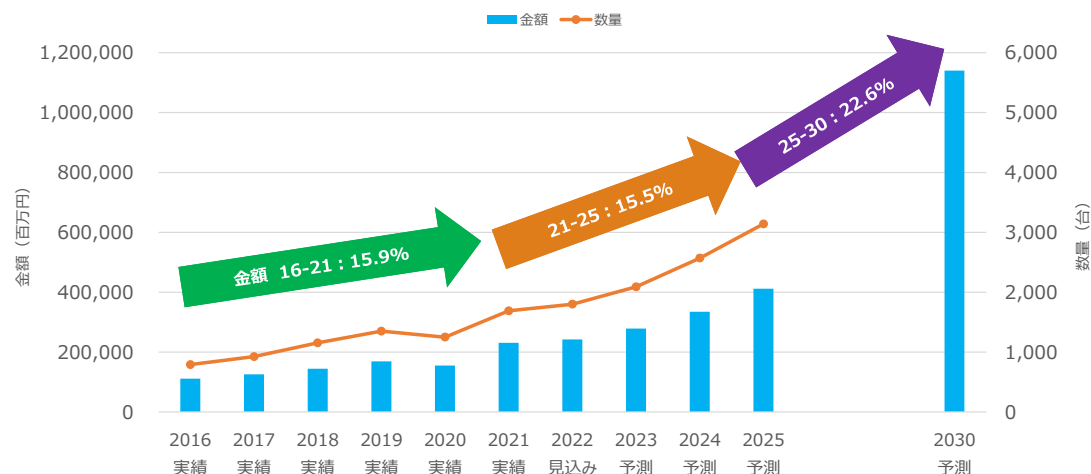
- 医師が3Dの内視鏡カメラによる立体映像を見ながら、ロボット部分のアームを操作して、患者の胸腔や腹腔の患部に直接触れずに手術を行うためのロボット。
- 「手術中の出血が少ない」「手術による傷口が小さい」「感染症のリスクが低い」等のメリットがあるとされている。



■ 手術支援ロボットの市場動向

- 手術支援ロボットの年平均成長率は27.7%と予測され、2025年の世界市場規模（予測）は6,000億円を見込む。

手術支援ロボット 海外市場規模推移



出展元：ワールドワイドロボット市場の現状と将来展望2019～2022（富士経済）

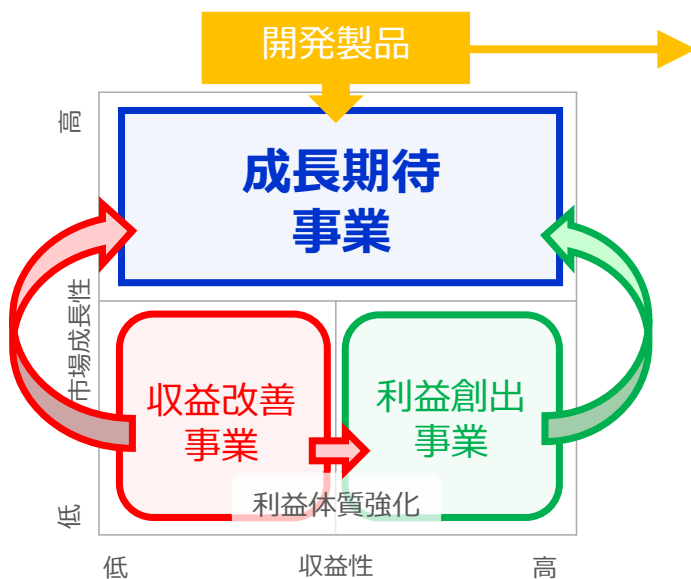
- 手術支援ロボットの導入には、各国の保険制度適用が大きく影響。
- 米国では幅広い手術に活用されており、日本でも2018年以降適用範囲が拡大中。
- タングステンワイヤーロープはステンレス材に比べ、強度や操作伝達性に優れており、ロボットのアーム部材として新規参入を目指す。

持続可能な社会への貢献

✓ 低侵襲医療の普及に貢献 … 世界の人々の健康と福祉

3. 日本タングステングループ 長期的なビジョンと事業戦略

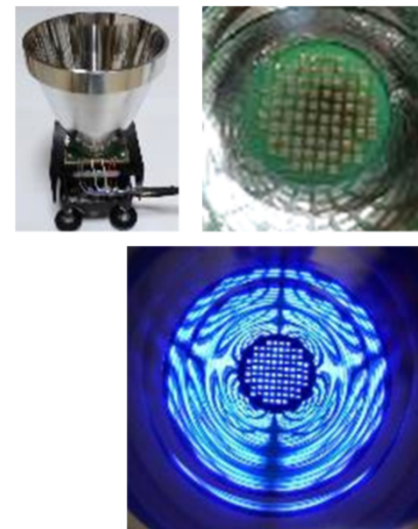
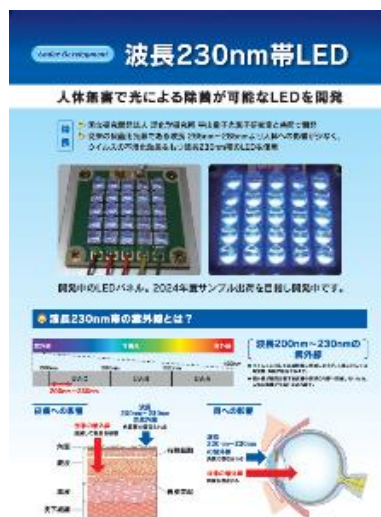
(4) 注力中の開発製品



【衛生用品機器・医療用部品市場】 深紫外LED関連製品



- 理化学研究所との共同研究により開発した人体無害波長とされる230nm LED。これを用いて除菌関連市場への参入を目指す。
- 材料設計技術を活かした新素材により深紫外LEDの性能UPに寄与。

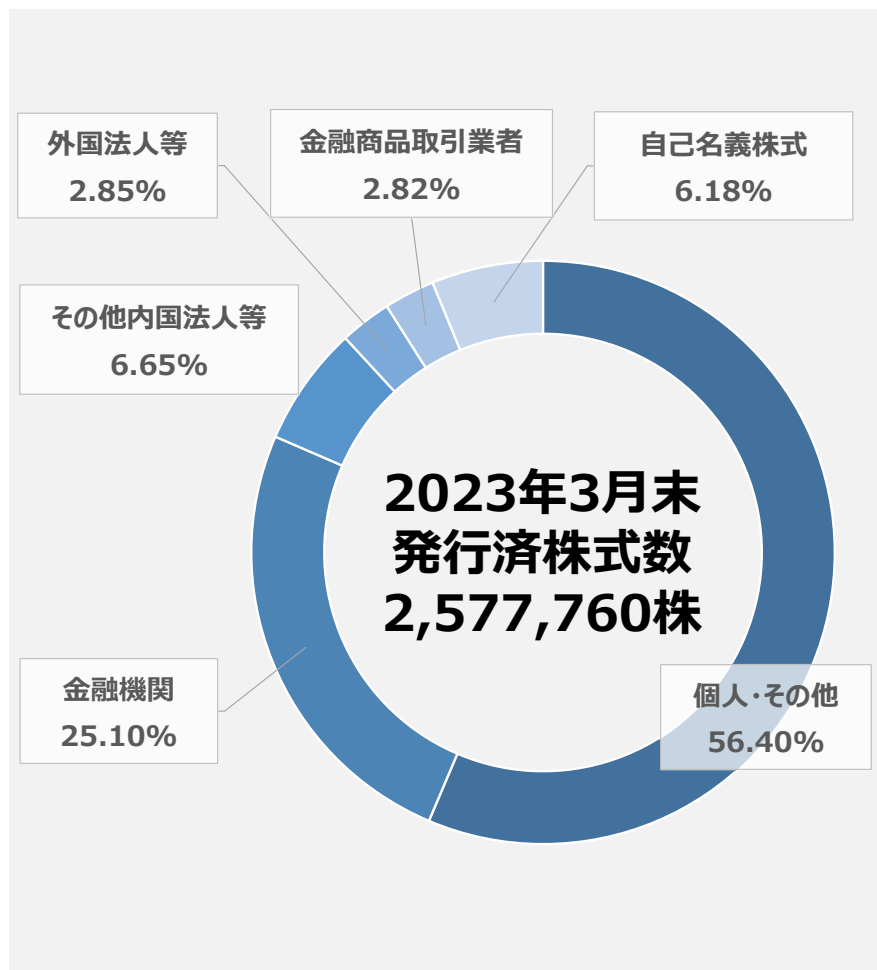




4. 株式の状況と株主還元

株式の状況

■所有者別株式分布状況



■株式指標

発行済株式数(2023年8月29日現在)	2,577千株
株価(8月29日)	2,458円
1株当たり純資産(2024/3月期第1四半期)	4,720.39円
PBR: 株価純資産倍率	0.52倍
1株当たり当期純利益(2024/3月期予想)	227.42円
PER: 株価収益率(2024/3月期予想)	10.81倍
1株当たり配当金(2024/3月期予想)	100.0円
配当利回り(2024/3月期予想)	4.07%

2023年8月29日終値(2,458円/株)で試算

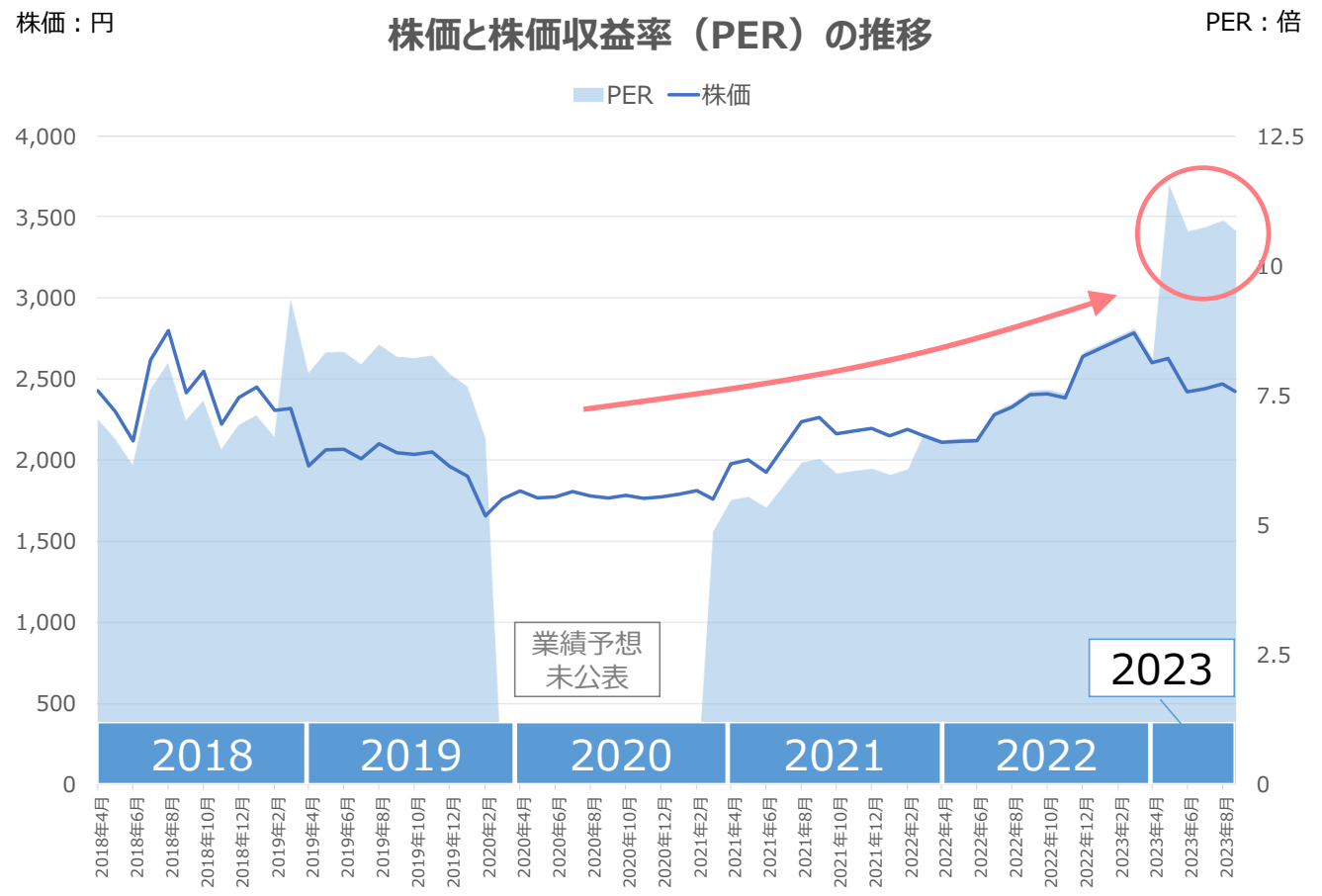


株式の状況

■ 株価と株価収益率（PER）の推移（2018/4～2023/7：東京証券取引所）

TOPICS

- ・コロナショック以降、株価は上昇基調
- ・2023年度は、対前年比で減益の業績予想のため、株価収益率（PER）は高めに推移



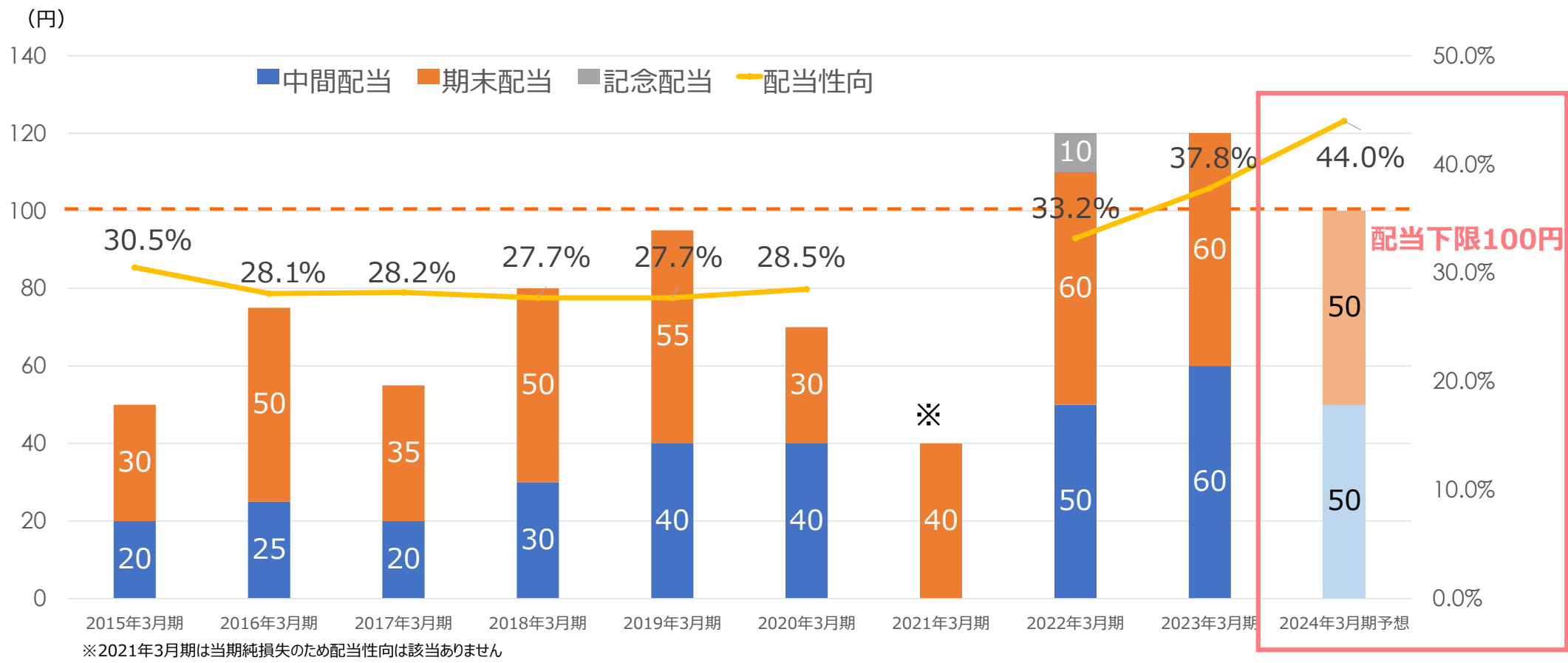
出典元：IR BANK



株式の状況

■ 配当金の推移と配当方針の変更

株主の皆様への当社の利益還元の方針をこれまで以上に明確にするため、2024年3月期より、**年間の1株当たり配当金額に100円の下限を設定**し、安定的・継続的な株主還元を努めてまいります。



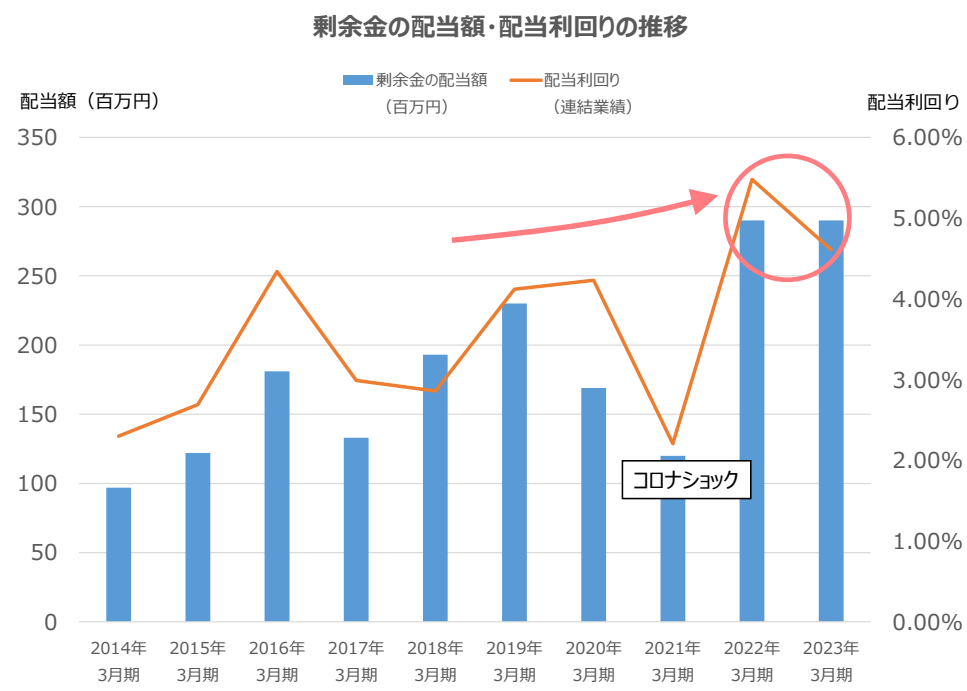


株式の状況

■ 株主還元関連指標の推移

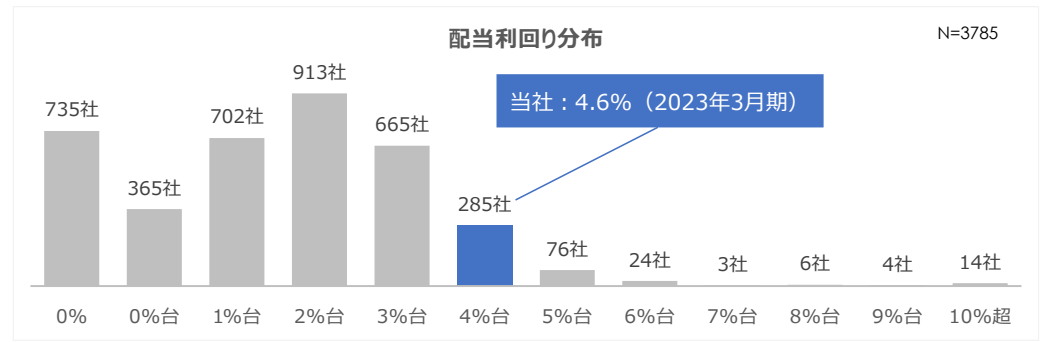
■ 剰余金の配当額・配当利回り

剰余金の配当額は、2022年3月期及び2023年3月期が、過去最高額（年間配当金1株当たり120円）であり、配当利回りも4～5%台で推移。



■ 剰余金の配当額・配当利回りの分布

当社の1株当たり年間配当金額及び配当利回りは、東証市場の中で高い位置にある。



出典元：SPEEDAデータを利用し、グラフ化。
管理銘柄等を除く、東証プライム・スタンダード・グロース企業の直近決算年度の実績に基づく。

本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



- I Rに関するお問い合わせ先
- 経営管理本部 経営管理部 : TEL092-415-5500
- mail : info@nittan.co.jp
- ホームページ : <https://www.nittan.co.jp/>

